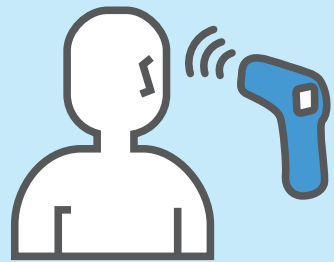


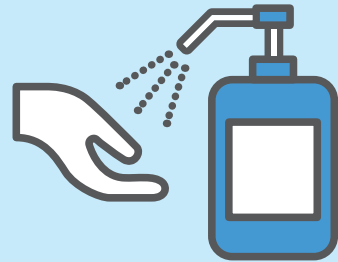
新型コロナウイルス感染対策にむけた 皆さまへのお願い

検温と体調管理



ご入場時に検温を実施し、
体温が**37.5℃以上**の場合は
ご入場をお断りさせていただきます。
また、咳症状や体調不良時は
ご入場をお控え下さい。

手指消毒



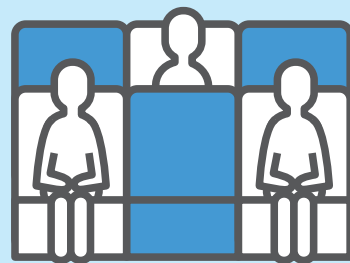
消毒液を設置しております。
ご入場時には、
アルコール消毒にて手指の
消毒にご協力下さい。

マスク着用



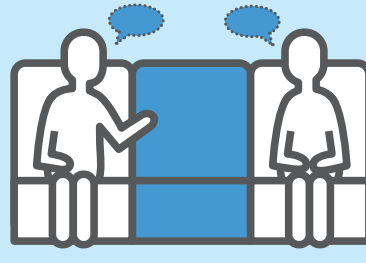
会場内ではマスクの
着用をお願い致します。

ソーシャルディスタンス



座席の間隔をあけてお座り
下さい。ホール外やトイレ等に
おいても、ご参加者同士
常時ソーシャルディスタンスを
保って下さい。

おしゃべりは控えめに



会場内でのおしゃべりは
控えめをお願い致します。

皆さまへのお願いはガイドラインが変更になれば変更になります。
ご理解・ご協力をお願い致します。



岡山大学
OKAYAMA UNIVERSITY

岡山大学統合報告フォーラム 2022

次世代と共に拓く 「ありたい未来」

2022

12/17 SAT

13:30-15:00

(会場受付 及び オンライン
受付 12:30~)

プログラム

- 13:30 開会
- 13:35 学長講演
トランスフォーラムの第4期へ
榎野 博史 学長
- 13:45 パネルディスカッション
次世代と共に拓く「ありたい未来」
<パネリスト>
伊藤 一葉 工学部 3年
ナタリー・モンテシノ 研究生・CLSプログラム2期生
ライアン・ジョセフ 文明動態学研究所 助教
中澤 拓也 大学院ヘルスシステム統合科学研究科 博士前期課程1年
<ファシリテータ>
榎野 博史 学長
- 14:45 意見交換
- 14:55 閉会挨拶



岡山大学は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

学長講演 トランスフォームの第4期へ

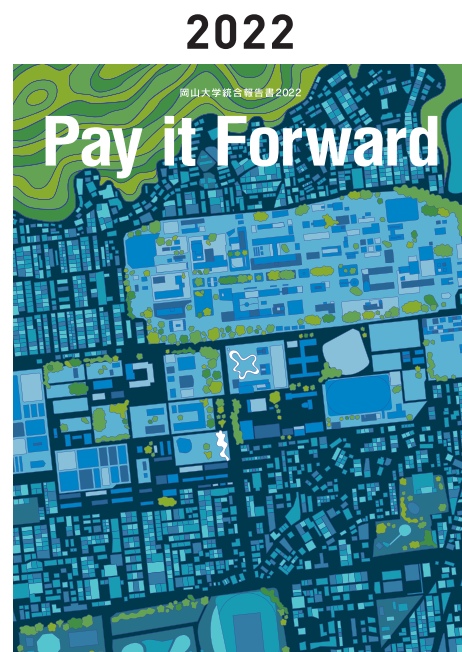
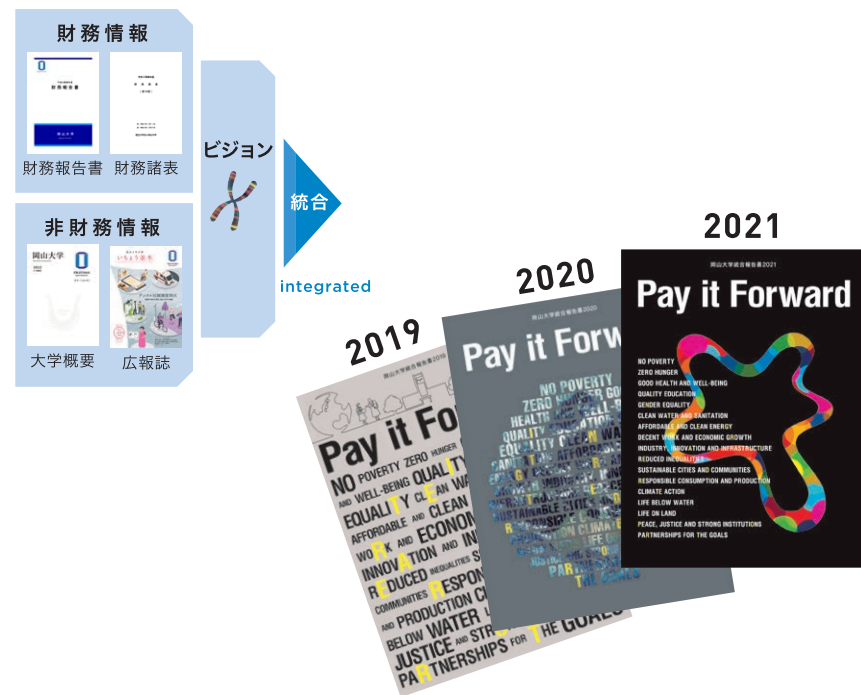


榎野 博史

岡山大学長

- 1975年 岡山大学医学部卒業
- 1983年 岡山大学医学部 助手
- 1994年 岡山大学医学部 助教授
- 1996年 岡山大学医学部 教授
- 2001年 岡山大学大学院医歯学総合研究科 教授
- 2002年 岡山大学医学部附属病院 副病院長
- 2009年 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科長
- 2011年 国立大学法人岡山大学理事・岡山大学病院長
- 2017年 国立大学法人岡山大学長(第14代)

統合報告書は、ステークホルダーの方々とのコミュニケーションツールと考えております。
皆様からの忌憚のない御意見をお待ちしております。



統合報告書はこちらからご覧いただけます

<https://www.okayama-u.ac.jp/tp/profile/annual.html>



パネルディスカッション 次世代と共に拓く「ありたい未来」

◆パネリスト



伊藤 一葉

岡山大学 工学部 3年

- 2020年 岡山大学工学部入学
- 2021年 岡山大学DS(データサイエンス)部に所属
- 2022年 DS部部长に就任
DS部の広報活動やイベントの運営、岡山の高校で情報教育や探究活動などの出前授業を担当

私の「ありたい未来」は“遊び心”の溢れる未来です。ちょっとした遊び心に触れると自然と心が温かくなりますし、DS部の新しいアイデアもみんなの遊び心から生まれていると感じます。また何より、どんな分野においても義務ではなく楽しんでやっている人には絶対に敵わないなあと思うんです。世の中の人々や製品がもっと遊び心に溢れていたら、今よりも温かくて、もっとクリエイティブで面白い未来があるのではないかなと。そんな未来になってほしいなと思います。



ナタリー・モンテシノ

岡山大学 研究生・CLSプログラム2期生

- 2020年 重要言語奨学金(CLS)プログラムに採択され、岡山大学へ派遣
- 2022年 コロラド州立大学 国際シンポジウムに参加
- 2022年 コロラド州立大学を卒業
- 2022年 フルブライト奨学金に採択され、岡山大学へ派遣

私は2022年9月にフルブライト奨学生として来日し、岡山でフィールドワークを通じてまちづくり、特に田舎の変化について研究しています。将来は自治体やNGOで働き、岡山での研究を活かしてアメリカの地域を良くし、文化遺産や歴史遺産を守っていきたいと考えています。多くの学生たちは自分の住む地域をより良くしたいと考えているので、大学はフィールドワークや地域のプロジェクトをより充実すべきだと思います。そうすることで、学生たちは地域と協力し、理想の未来を実現することができると思います。



ライアン・ジョセフ

岡山大学 文明動態学研究所 助教

- 2018年 大阪大学大学院文学研究科博士後期課程修了(考古学)
- 2018年 日本学術振興会外国人特別研究員(岡山大学)
- 2020年 岡山大学文明動態学研究所 特任助教

世界が複雑化し、情報源も多様化している中で、情報の真偽の判断がますます難しくなっています。不確実性に富んだ現状そのものを根本的に変えることは個人の力を超えています、この現状に直面した時の我々の対処法が生き抜く鍵になるでしょう。幅広く知識を渴望する姿勢を身につけ、物事や情報を吟味し、最も蓋然性の高い判断にたどり着くことが、惑わされない社会基盤になります。こういった姿勢を培った次世代と共に、信頼できる社会を創ることが私の「ありたい未来」です。



中澤 拓也

岡山大学 大学院 ヘルスシステム統合科学研究科 博士前期課程1年

- 2020年 TABLE FOR TWO University Association 中四国支部代表(2020-2021)
- 2020年 岡山大学SDGsアンバサダー(2020-現在)
- 2020年 在大阪・神戸米国総領事館 Ambassador's Youth Council(2020-現在)
- 2021年 第1回岡山大学SDGs推進表彰優秀賞受賞(岡山大学TFT)
- 2021年 高度実践人(グローバル)
- 2022年 学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト(2021年度)グランプリ受賞

私が考える「ありたい未来」とは、次世代が大人の持つ既存の物差しの尺度で評価され、それが全てとなるだけではなく、目の前のやりたいことや興味・関心、ワクワクに従って正直に生きることができる社会です。過去の常識が通用しないとされる変化の激しい時代において、「想像できる人生」を選択するだけでなく、異なる世代の人々がお互いの「想像できない人生」を尊重し、共に未来を創っていく世の中でありたいと考えています。

◆ファシリテータ 榎野 博史 学長